

図書館 コーナー



～新着図書～

「読書大会」

(植田康夫編 講談社)

書評平聞である「週刊読書人」に掲載された読書に関するエッセイ集。辞書、全集、講座、文庫本などのつきあい方を論じたり、それらの思い出を書いたエッセイが収められている。書物という文化の核にふれることの楽しさ、深遠さを感じさせる一冊である。

<一般書>

◇あの猿を見よ(草森紳一著)◇熱い絹(松本清張著)◇記憶の闇(松下竜一著)◇鏡の中の鏡 - 迷宮(ミヒヤエル・エンデ著)◇ジャズ1920年代(ハドロック著)◇路上の人(堀田善衛著)◇父・長谷川一夫の大いなる遺産(林成年著)◇学者渡世(南博著)◇和解(A・サロイヤン著)◇孤独なアメリカ人たち(コールドウェル著)◇黒マントの女(A・モラヴィア著)◇いつもの雑踏いつもの場所で(山田太一著)◇やたけた奴(難波利三著)◇子は危険人物なり(宮武外骨著)◇風の魔法陣(斎藤栄著)◇挑戦する中小企業(中村秀一郎著)他

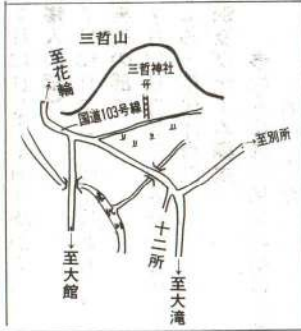
<児童書>

◇立方体をさぐる(A・ラスッチ、W・ロリンブ著)◇コアラ(フレーベル館刊)◇つっぱり魔物グロリカン(モリー・ハンター作)◇白鳥座61番星(瀬川昌男作)◇ぼくのえほん全5冊(津田櫓冬作)他

<中央図書館の休館日>

6月27日
7月21、25日

交通・秋バス別所入口停留所徒歩20分

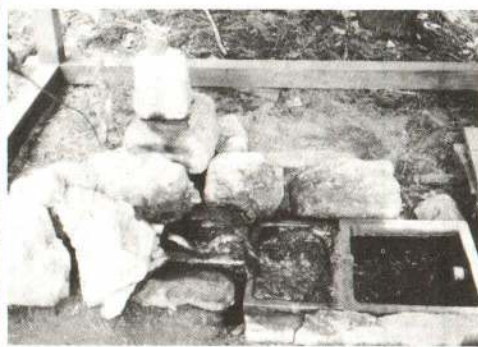


十二所を眼下に見おろす三哲山(蝦夷ヶ森)の中腹に、三哲(千葉秀胤)を祀る三哲神社がある。南部九戸の浪人を父にもつ秀胤は青年期に江戸で武芸・医学・文学を修め、寛文六年(一六六六年)ごろから十二所で医を施すかたわら、文武の道も教授し、人々から三哲様と呼ばれ親しまれた。三哲は圧倒する威厳を備えた反

大館の歴史散歩

泉 ③

面、同情憐愍の心厚く、富者、貧者をわけ隔てすることはなかった。しかし、一部の有力者は三哲の豪氣反骨をけむたがり、邪計によって三哲を葬り去ってしまった。三哲の遺骸は、常にひとり武芸を修練し、書を読み、平生「我死なば是に葬れ」といつていた蝦夷ヶ森の前山に遺言通り葬られ、数年後には神社が建立された。このことからいつしか人々は、蝦夷ヶ森を三哲山と呼び、三哲神社、三哲様と呼ぶようになった。泉は三哲神社の社地にあつて、三哲山に浸み込んだ水脈を、三哲自身が開設したと伝えられ、現在は三哲講中の人々によって整備され(写真下)、冷たい水量豊かな水が湧き出ている。



(市役所・史跡探訪会)

ら南に折れ、三哲山を覆う樹草の中に歩を進め、太い松根が乱れからみあう急な参道を登りつめると、深閑とした三哲神社にたどりつく。社殿わきの手水鉢は三哲が作ったものという。冷たい泉の水で喉を潤おし、十二所を一望に見下す時、ひとり黙々と修業をつむ、三哲の姿がしのばれる。



5月19日、海外たすけあい全国キャラバンが、青森県の青年赤十字奉仕団(右)から大館の同団へと引継がれました。(市役所前)

今、海外では食糧難や病気のため死を待つばかりの人たちがたくさんいます。こうした人たちがたくさんいます。こうした人たちがたくさんいます。少なくなるために活動しているグループの一つに大館市青年赤十字奉仕団があります。

大館市青年赤十字奉仕団

われら サークル仲間

№.12

同団は昭和五十八年、前委員長の高山孝子さんの呼びかけで結成、現在は女性十人、男性三人の団員で活動しています。少ない人数のため、募金活動や施設の慰問などには市内のJRC会員やボランティアグループの手助けなしでは、なかなか思うままにはなりません。また、特に最近、街頭募金(各家庭への個別訪問はしていません)への一般の人たちからの誤解による中傷や批判も、団員の士気を鈍らせます。それでも老人ホームへ慰問した帰り際「ありがとう、今度はまたいつ来てくれますか」と言われるときは胸にジーンとくるそうです。こんなとき、こんなに喜んでくれている。それじゃもっと色々なことを勉強し技術を覚え、少しでも多くの人に役立つ活動をしてあげたい。自分たちの活動を「ボランティア」と思わないことが原点だ、とも話します。同団では一緒に活動してくれる仲間を募集しています。参加希望の方は市福祉事務所までご連絡ください。

対話の集い

市民と語る会

市ではできるだけ多くの皆さんから市政に対するご意見やご要望をお聞きするため「市民と語る会」を開催しています。今回から「地域テーマ」についても話し合っています。皆さんのご参加をお願いします。

実施日	会場
7月1日(月)	板子石 会館
2日(火)	山神台 "
4日(木)	高館下 "
8日(月)	茂内 公民館
9日(火)	新沢 会館
11日(木)	下代野 "
12日(金)	中山 館 "
15日(月)	山 館 "
16日(火)	舟場 "
18日(木)	横岩 大西館
19日(金)	餅田団地 会館
22日(月)	川口 "

じかん・午後7時30分～9時30分